

札幌版次世代住宅に関する調査 集計結果

1 調査目的

札幌市内における札幌版次世代住宅の普及状況や普及に向けた課題を把握し、今後の普及促進策の検討資料とします。

2 調査対象期間

2024年度(2024年4月～2025年3月)

3 調査対象・調査形式

以下のいずれかに該当する105社を対象としたアンケート形式とします。

- ・ 2024年度に札幌市にて戸建て住宅の確認申請を5棟以上行った事業者
- ・ 2024年度に札幌版次世代住宅性能評価を受けた事業者

4 調査実施期間

2025年8月13日～2025年9月3日

5 調査内容

- ・ 事業者が設計する新築戸建て住宅の省エネ性能や気密性能について
- ・ 札幌版次世代住宅について
- ・ 既存住宅の断熱性能について

6 回収結果

- ・ 回答数:41社(回収率 39.0%)
- ・ 着工件数換算の回答数:1,842戸
- ・ (2024年度の確認申請戸数:3,924戸に対する調査対象戸数の割合 46.9%)

7 調査内容の変更について

(株)エクスナレッジ主催『第9回日本エコハウス大賞』への自治体賞創設に対する認知度や、既存集合住宅の高断熱改修補助金活用の意向調査など。

8 調査結果について

回答のあった事業者が新築した戸建住宅の中で、札幌版次世代住宅基準ブロンズ相当以上(U_A 値0.40以下)の断熱性能を持つ住宅は、前回調査の94.1%から2.4%上昇し、96.5%でした。このうちシルバー相当以上(U_A 値0.28以下)の住宅については、前回調査の40.8%から11.7%上昇し、52.5%でした。

なお、本調査は、アンケート調査で回答のあった事業者の回答を集計したものであることから、本市全体の実績を示しているものではありません。

※(参考)直近5年の調査結果

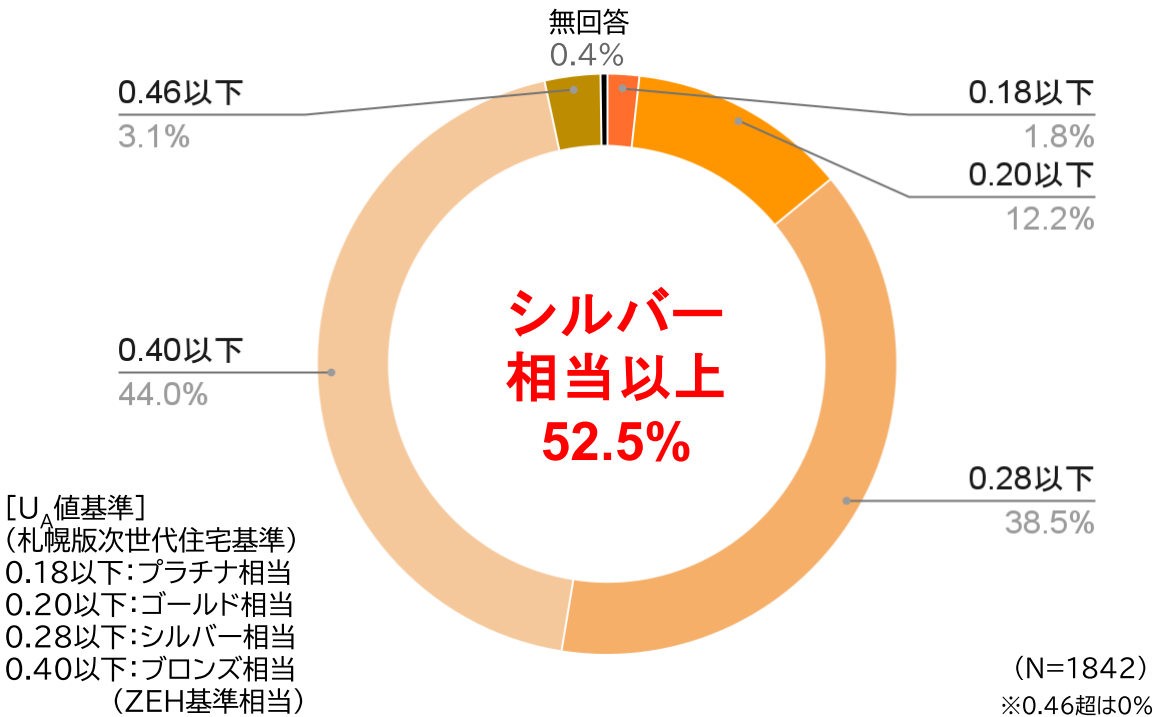
| | 2021 2020年度分 | 2022 2021年度分 | 2023 2022年度分 | 2024 2023年度分 | 2025(今回) 2024年度分 |
|--------------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------------|
| シルバー相当以上 (U _A 値0.28以下) | 39.1% | 40.7% | 24.7% | 40.8% | 52.5% |
| ブロンズ相当以上 (U _A 値0.40以下) | 73.0% | 79.0% | 86.6% | 94.1% | 96.5% |

※端数処理(小数点第二位以下四捨五入)の関係上、構成比(%)の計が100%とならない場合があります。

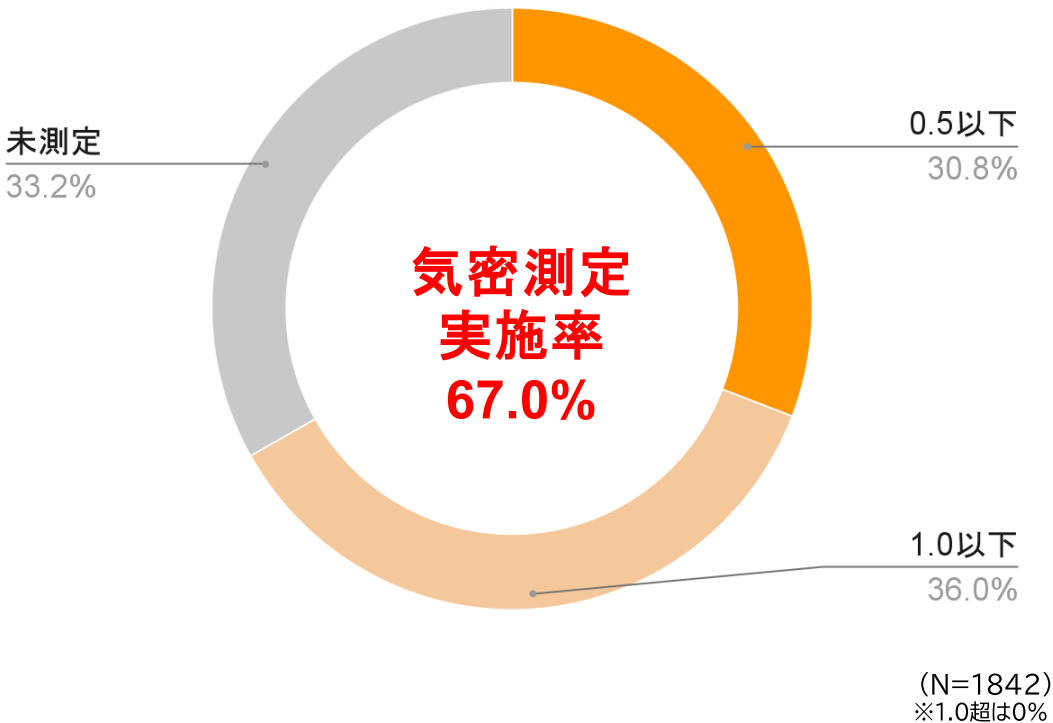
新築戸建て住宅の省エネ性能について

<2024年度に着工した戸建住宅の性能(実績戸数)>

○外皮平均熱貫流率(U_A 値)のおおよその内訳

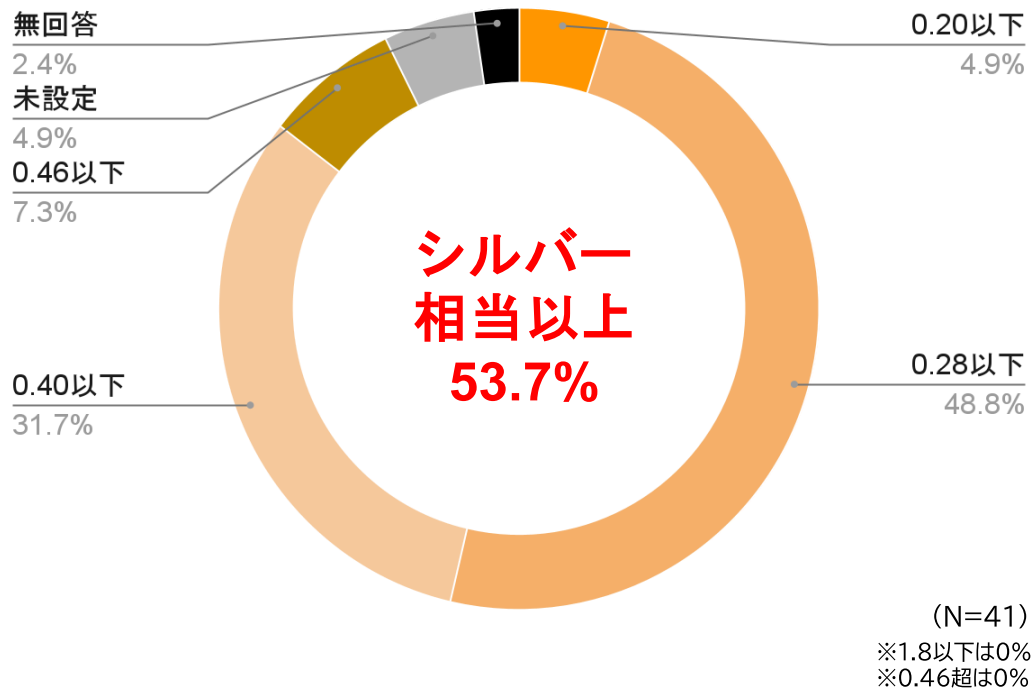


○相当隙間面積(C値)のおおよその内訳

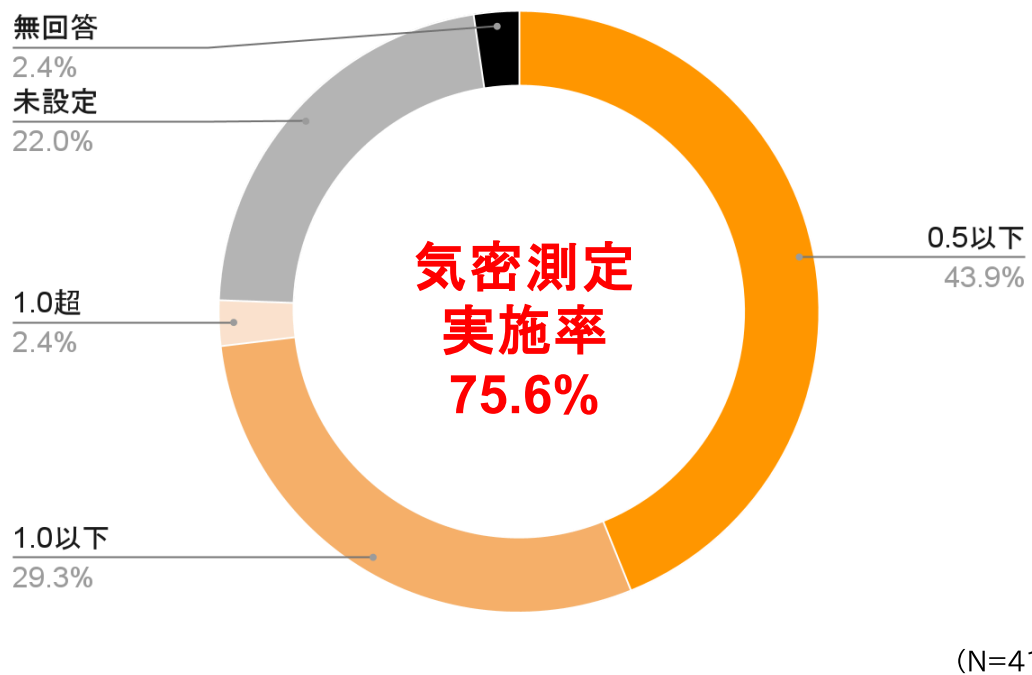


<標準仕様としている住宅の性能>

○外皮平均熱貫流率(UA値)の内訳

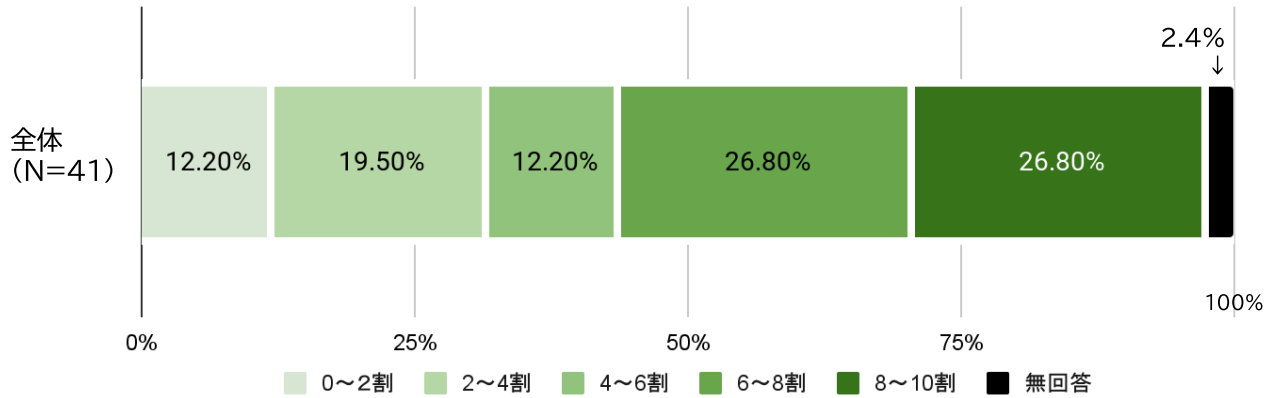


○相当隙間面積(C値)の内訳

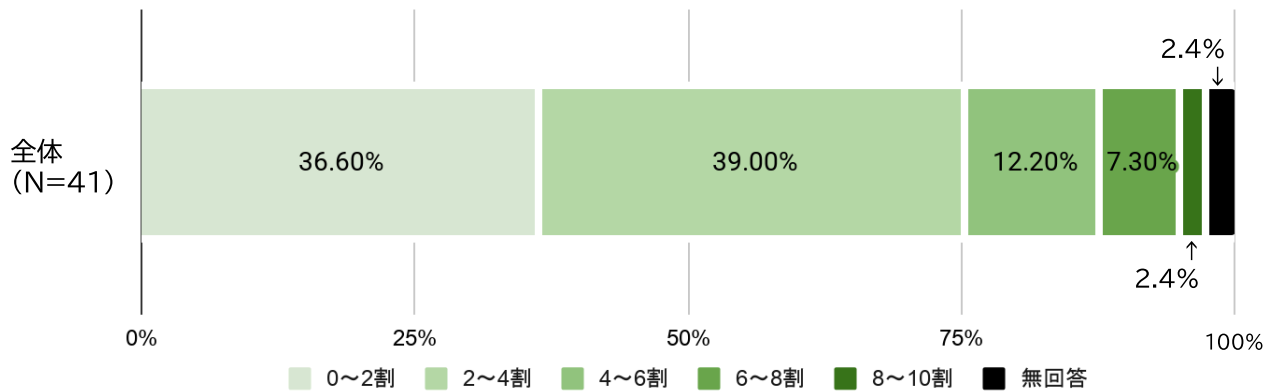


札幌版次世代住宅について

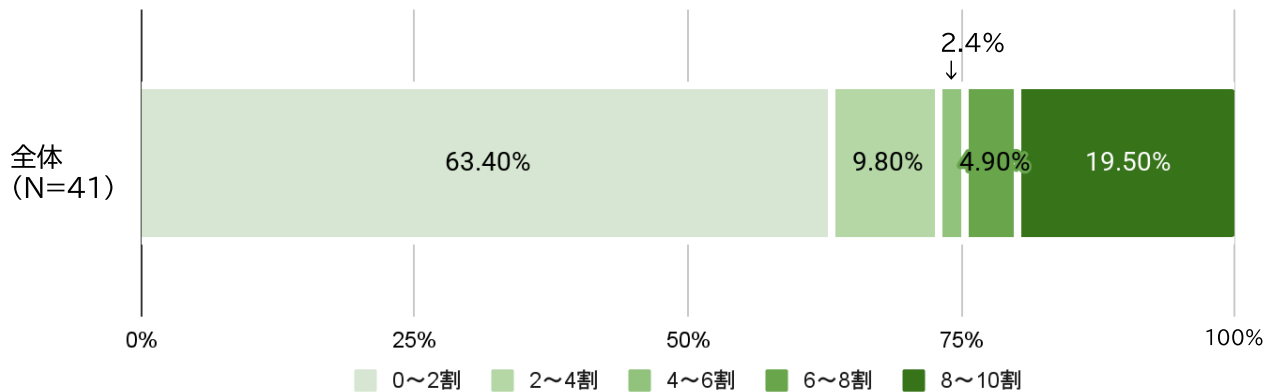
○従業員の札幌版次世代住宅の認知度



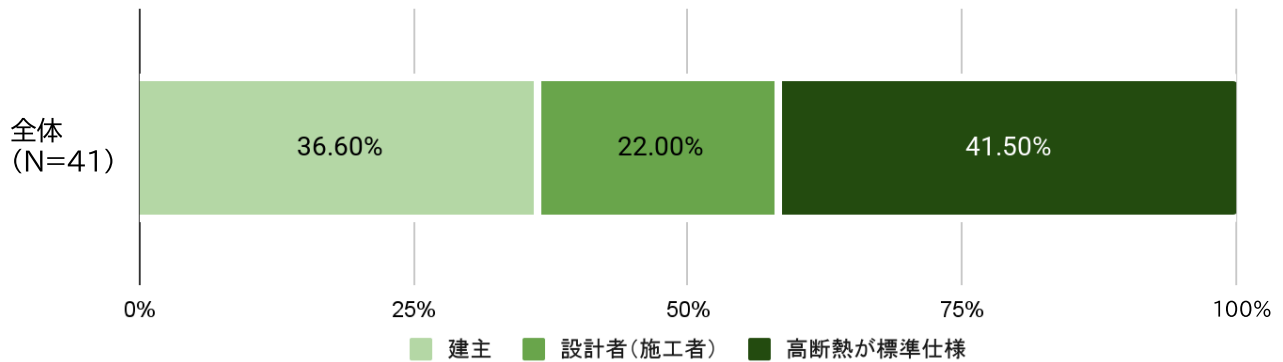
○建主・買主の札幌版次世代住宅の認知度



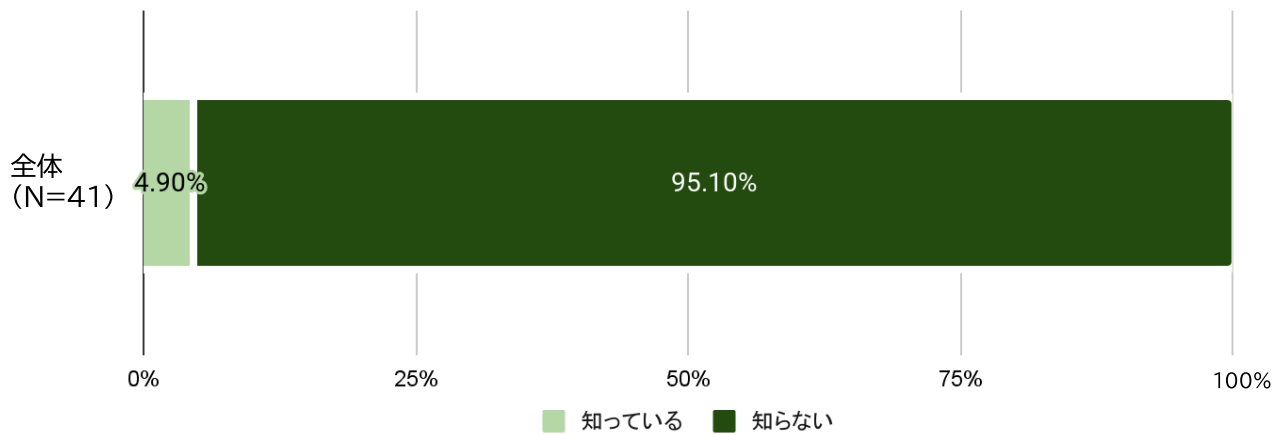
○高断熱・高気密住宅(UA値0.20以下)を希望する建主・買主の割合



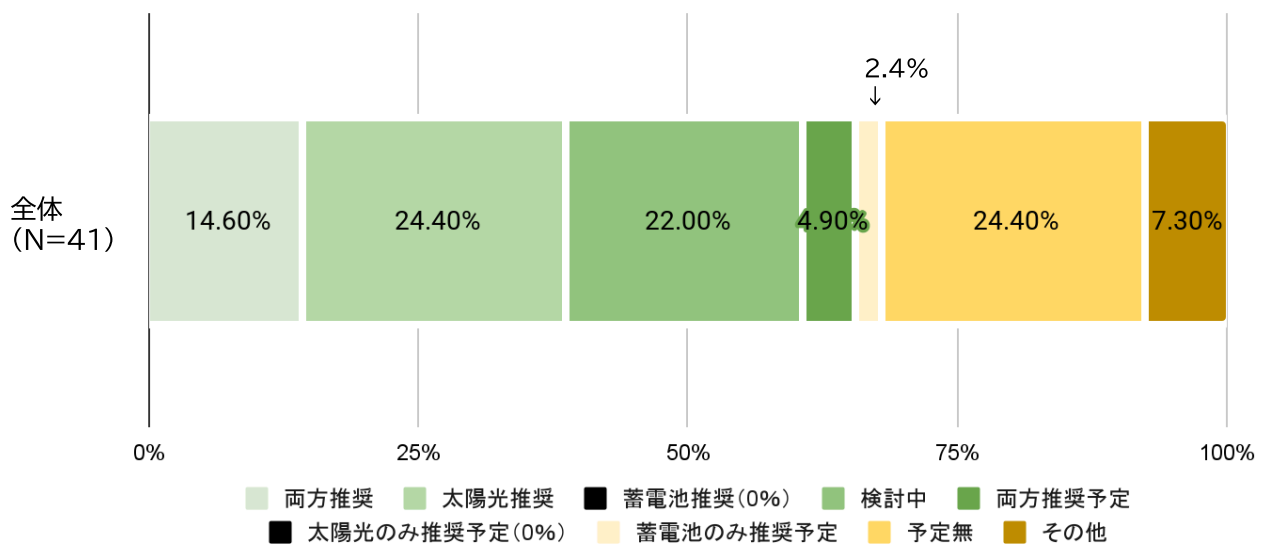
○高断熱・高気密住宅を建築する場合の提案元



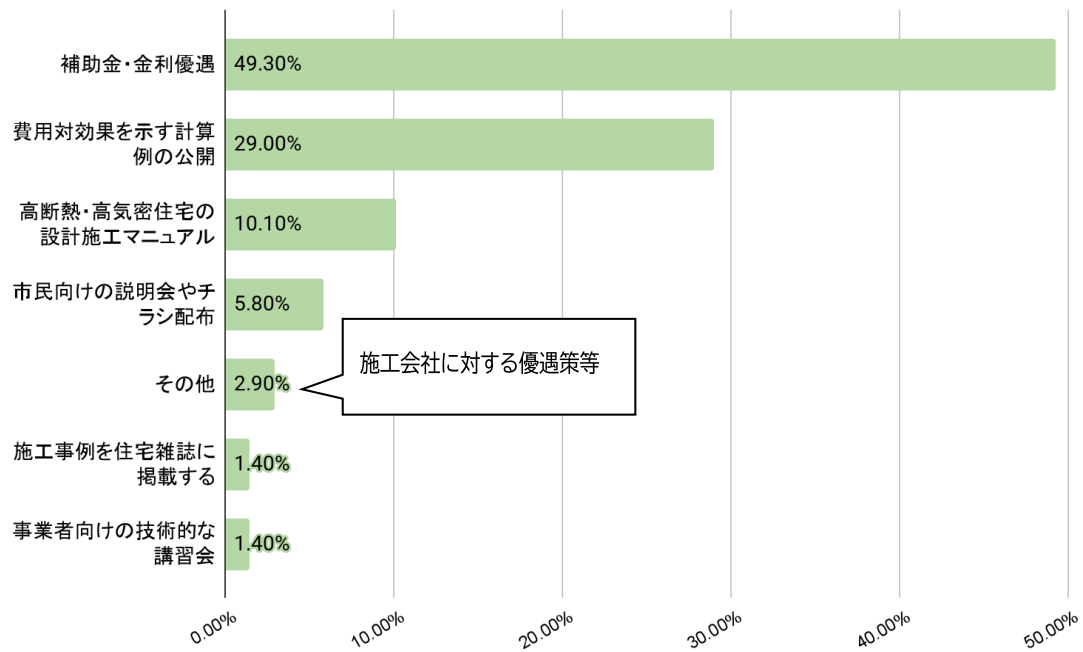
○(株)エクスナレッジ主催『第9回の本エコハウス大賞』に自治体賞が創設されたことへの事業者の認知度



○太陽光発電設備・蓄電設備の施主に対しての推奨度



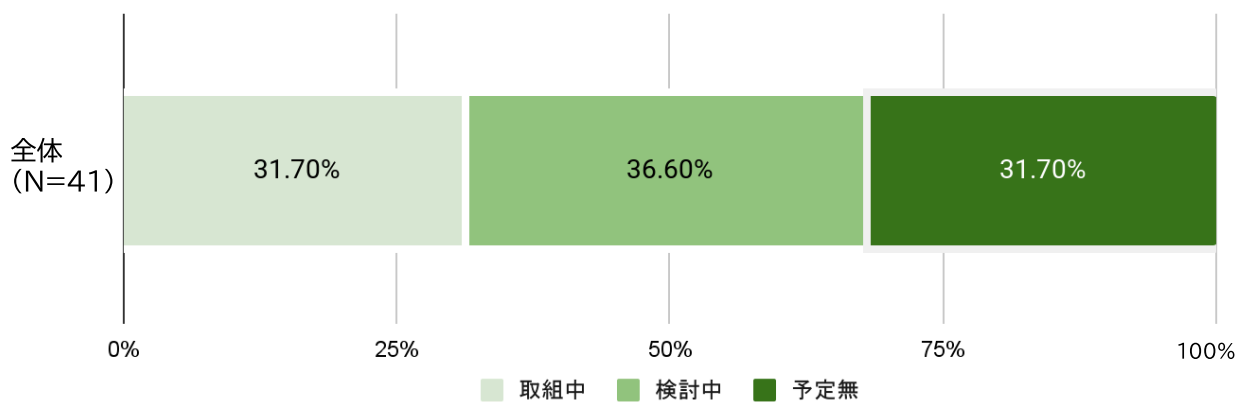
○高断熱・高気密住宅が普及するために必要な支援策



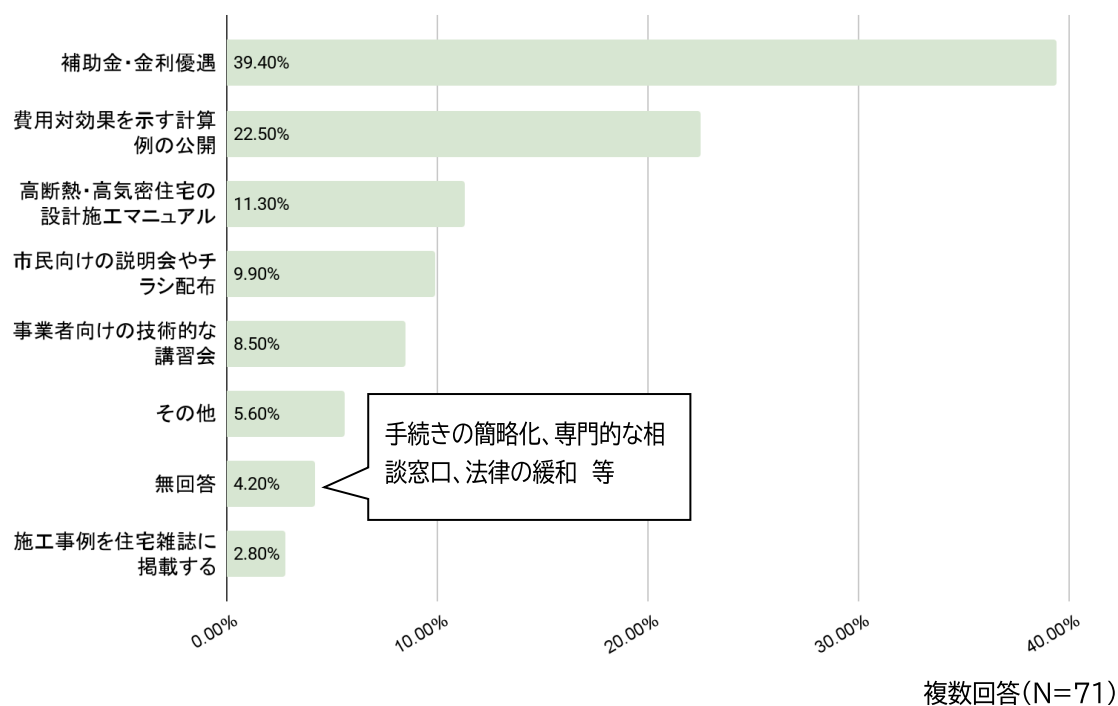
複数回答(N=69)

既存住宅の断熱改修について

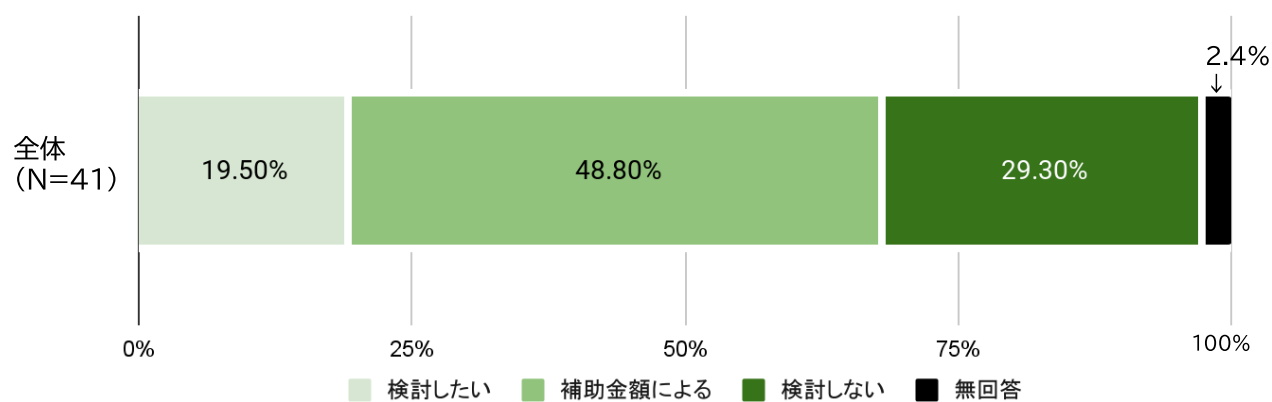
○既存住宅のZEH基準相当の断熱改修への取組み状況



○既存住宅の断熱改修が普及するために必要な支援策



○既存集合住宅のZEH基準相当の断熱改修への補助金に対する検討度



○自由意見

札幌版次世代住宅基準に関するご意見

- 認定された住宅に、エコカー減税のような税優遇があれば、補助制度がなくてもお勧めしやすくなると思います。※住宅所得税(家屋)廃止、固定資産税(家屋)の減額
- 基準値が高すぎるため普及は難しいように感じます。

補助制度に関するご意見

- 審査がもっと簡易的になると制度を利用しやすくなると思います。
- 工事遅延、人手不足、申請業務手間について解消してほしい。
- 土地、資材の高騰する中、ありがたい補助金です。住宅寿命を延ばす構造デザインに対する補助金があればよいと思いました。
- 周知する機会を業者にも建主にも作るべきだと思う。
- 各スケジュールに余裕があると申込・利用がしやすい。
- 抽選制度では使い勝手が良くない。
- 補助金で工事が誘発されるのは良いですがそれに振り回されることもあるのでそうならないように進めていきたいです。
- 道内市町村に波及するようなPR・道との連携を